

**令和3年度 介護のしごとと魅力発信等事業
福祉・介護の体験型・参加型イベント実施事業**

**業務報告書
2022.4.28**

テレビ朝日映像

事業の全体像

令和3年度の事業テーマ

- ▼幅広い世代の人々に向けて、福祉・介護の魅力を発信する「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」を立ち上げ
- ▼福祉・介護の仕事に携わる人々を応援するとともに、多様な人材を促進するため、「自分事化」を「加速」
- ▼ターゲットを拡大し、それぞれの世代カテゴリ毎にイベントや番組内容を設定
- ▼当プロジェクトを盛り上げる「GO!GO!KAI-GO応援団」を結成し、通年の取り組みの軸に



「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」という共通フレームのもと、ターゲット毎に細分化した施策を実施し、幅広い世代の参加意識を向上させる。



ターゲット①

若年層

小学・中学・高校生を中心とする将来の介護人材層



ターゲット②

子育てがひと段落ついた層

40~50代女性を中心とする介護人材即戦力層



ターゲット③

アクティブシニア層

50代後半~の男女を中心とする介護人材即戦力層



ターゲット④

無関心層も含む社会全体

福祉・介護のしごとの魅力を伝える各種イベントとテレビ・ウェブ番組を連動させた事業を計画。幅広い世代の参加意識を高めるため、この取り組みを応援する各世代の著名人をアンバサダーに起用。イベントや福祉・介護現場等に参加してもらい、その体験を、連動する番組で共有し、視聴者の二次的体験につなげる。また、イベントの告知や結果を、テレビ（地上波・衛星波）・新聞・ウェブ・SNSで拡散し、効果的な情報発信を行う。

事業実施体制

テレビ朝日映像

ビジネス総局コンテンツビジネス部

担当局長兼部長
岡崎貞利

全体統括及び進行担当
ゼネラルプロデューサー 和田勝彦

進行管理プロデューサー 成松賢二

制作管理ゼネラルプロデューサー 竹花泰之

朝日新聞社

運営統括責任者／ソリューションデザイン部 次長
吉田智紀

現場責任者／ソリューションデザイン部
安藤桃子

進行担当者／ソリューションデザイン部
平澤歩

進行担当者／ソリューションデザイン部
川音尚史

進行担当者／ソリューションデザイン部
松本絢

企画委員プロフィール ※五十音順

社会福祉法人京都福祉サービス協会地域共生社会推進センター長 河本 歩美 様

1994年より介護職として勤務。介護が必要となった高齢者が、その人らしく輝き続けるための仕掛けとして、高齢者福祉施設の枠を超え、高齢者が活躍できる機会づくりを行っている。

主な取り組み>

- ・ 真の「社会参加」を目的とした高齢者モノづくりブランド「sitte」の立ち上げ
- ・ 地域の集いと憩いの場を目指したイベント「おいでやす食堂」

株式会社朝日学生新聞社 編集部 部長 清田 哲 様

小学生向けの「朝日小学生新聞」と中学生・高校生向けの「朝日中高生新聞」を発行する朝日学生新聞社の編集部長。

特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所 代表 鈴木 しげ 様

「ボランティア事業」と「収益事業」を両立させ、介護をはじめ、障害福祉、子育て支援、傾聴ボランティア育成など、地域密着型の43事業を展開。介護の領域を超え、地域の誰かが楽しめる場を生み出している。

事業例>

- ・ 神奈川県藤沢市の鶴沼海岸にあるカフェレストラン「かめキッチン」：デイサービス「カルチャースクール亀吉」の利用者たちが調理したランチを提供している。
- ・ 天然酵母のパンを販売する「パン遊房亀吉」：ふるさと納税サイト「さとふる」パン部門第1位に（2018年1月）。

未来をつくるkaigoカフェ 代表 高瀬 比左子 様

1975年、東京都練馬区生まれ。大学卒業後、一般企業に就職し役員秘書となるが、「自分に合わない」と感じ退職。高齢者介護に取り組むNPOを支援する財団法人に転職。その後、介護の現場へ。

2012年7月、練馬区の喫茶店で、第1回となる「未来をつくるkaigoカフェ」を開催。その後、規模を拡大し、この9年間で300回におよぶイベントを開催。

合同会社かたか本舗 代表/イベントプロデューサー 高田 充典 様

総合広告代理店ADKにて長年イベントプロモーションを担当。独立し、イベントプロデューサーとして大小さまざまなイベントの企画・運営を手掛けている。

コミュニティカルティベーター/なかまある創刊編集長 富岡 史徳 様

朝日新聞社にて日本最大級の認知症関連メディア「なかまある」を立ち上げ、創刊編集長を務める。現在は独立し、コミュニティカルティベーターとしてコミュニティの立ち上げ、活性化に取り組む。

事業全体像（当初計画）

イベント連動型 体験共有番組『GO!GO!KAI-GO応援団』の放映・配信



大規模イベント開催
テレビ朝日・配信イベント



「DEPARTURE 2021
SUMMER」
-次世代イノベーター
が未来をつなぐ-

大規模イベント開催
音楽フェス
「COUNTDOWN
JAPAN」



大型シンポジウム
開催



小学生向け
イベント開催



全国の中学校・
高校での出張授業



ウォーキング
イベント開催
日本スリーデー
マーチ



介護の仕事
バーチャル
体験



テレビ地上波・衛星波/
新聞/
ウェブ/SNS
での情報発信



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
イベント内容の差し替えや、リアル実施からオンライン実施に切り替えるなど適宜変更。

事業全体実施スケジュール

4・5・6月

7・8・9
月

10・11・12
月

1・2・3
月

企画・イベント実施・取材撮影



**GO! GO!
KAI-GOプロジェクト始動**



「DEPARTURE 2021 SUMMER」
-次世代イノベーターが未来をつなぐ-



ABEMA TV音楽ライブ
Asianダンスボーカルグループ大集合SP

トレンド!
withnews∞TV



出張授業



介護の仕事バーチャル体験

放送・配信・拡散

番組『GO!GO!KAI-GO応援団』全5回シリーズ

- ・ YouTube・CPサイトでシリーズ配信（4回@15～30分）
- ・ 最終回は、2021年初頭にBS朝日スペシャル番組として放送
- ・ テレビ朝日で番組のインフォマ（15～30秒）を配信予定
- ・ SNSでターゲットに視聴誘導を実施
- ・ 応援団メンバーが参加した各イベントの様態をコンテンツ化



トレンド!
withnews∞TV

プロジェクトアンバサダー「GO!GO!KAI-GO応援団」



各ターゲットに合わせて、幅広いキャラクター・世代の著名人を、「GO!GO!KAI-GO応援団」としてプロジェクトを盛り上げるアンバサダーに起用。プロジェクト連動番組や各種イベントに参加していただきました。

GO!GO!KAI-GOプロジェクト 公式HP

GO!GO!KAI-GOプロジェクト～つこうろ！福祉・介護の未来～ (gogo-kaigo.jp)



福祉・介護のしごとの、やりがい・面白さ・魅力を届ける GO!GO!KAI-GOプロジェクト始動！

『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』は、福祉・介護への多様な人材参入を促進する為に、厚生労働省補助事業「令和3年度介護のしごとと魅力発信等事業（体験型・参加型イベント）」として発足されました。年間を通じて様々なイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来の可能性を発信していきます。

さらに、アナウンサー・福澤朗さんを中心に「福祉・介護の世界で活躍する人々の力になりたい！」と意気込む著名人たちが集い、当プロジェクトを盛り上げるための「応援団」が結成されました。

若手のモデルやアイドルから、お笑い芸人、ママタレントなど幅広い世代のメンバーたちが介護・福祉の現場に飛び込み、誠行錯誤しながら大奮闘！そこで得た発見や感動、仕事のやりがいなどを、BS朝日特番「GO!GO!KAI-GO応援団」（今冬OA予定）や定期配信WEB動画を通してレポートしていきます。

応援団メンバー



BOYS AND MEN

坂下千里子

福澤朗

安藤なつ

小宮有紗

#2 「介護の専門職に体験入門！」



ARTICLES

「朝日福祉会館2021」 パネル討論「ケアテックで変える介護現場 求められる設備改革とテクノロジー」



2021年10月18日配信
出演者：大阪経済大学 川口徹子・特任教授、株式会社aba 平井富美社長、フリーアナウンサー 福澤朗さん (GO!GO!KAI-GO) (100-00000000-1000)

GO!GO!KAI-GOプロジェクト collaborated with DEPARTURE 2021 SUMMER



2021年7月22日（水）ひる12:00～午後1:00 ネットオフイベント（スペシャルゲスト 作家・岸田奈美さん）

#1 「GO!GO!KAI-GO応援団、始動！」



朝小ジマースクール2021 未来を作るコミュニケーション術。KAI-GOの仕事から学ぼう



2021年7月17日（土）11:00～12:00開演

YouTube/BS朝日の特別番組を公開する他、イベント実施の様態を動画等で閲覧可能にし、2次的な情報発信を展開。プロジェクトの全体像が見えるプラットフォームに。
52,690PV
(2022年3月末時点)

プロジェクト連動番組「GO!GO!KAI-GO応援団」

プロジェクト連動番組（YouTube&BS朝日）

「GO!GO!KAI-GO応援団」

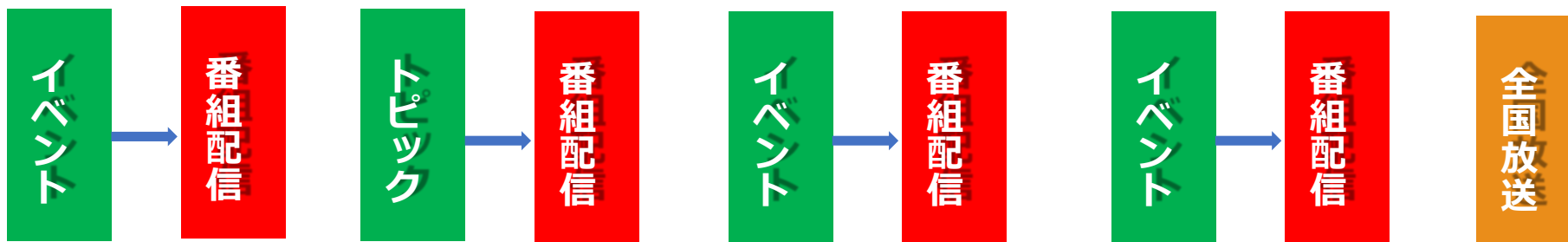


<番組概要>

国民的アナウンサー・福澤朗さんを中心に「本プロジェクトの盛り上げ役となって、介護・福祉の世界で活躍する人々を応援したい!」と、個性豊かな著名人たちが“応援団”を結成。メンバーがイベントに参加したり福祉・介護のしごとを体験したりしながら、その魅力をレポートするのが、当プロジェクト連動番組『GO!GO!KAI-GO応援団』（YouTubeによる配信/BS朝日による放送）です。

シニア世代に差し掛かる福澤さんを筆頭に、20~30代の若者世代のモデル・アイドル、子育てひと段落のママタレント、介護職経験のあるお笑い芸人など、多世代の異能メンバーたちが、福祉・介護の最前線に飛び込んで大奮闘。その中で得た発見や感動、仕事のやりがいなどを発信・共有します。

若者からアクティブシニアまで、幅広い世代への認知度をもつ福澤朗さんだけでなく、ターゲット層毎に訴求力のある出演者を起用することで、福祉・介護のしごとのイメージアップを図り、参入意欲を刺激します。



それぞれのイベント施策やトピックテーマと連動させた番組を制作・発信

各回テーマと配信回数



YouTube

再生回数
152,806回

2022年3月30日現在

#1 「GO!GO!KAI-GO応援団、始動！」



YouTube

再生回数
359,307回

2022年3月30日現在

#2 「介護の専門職に体験入門！」



YouTube

再生回数
186,073回

2022年3月30日現在

#3 「10代と共に語る福祉」



YouTube

再生回数
1,346回

2022年3月30日現在

#4 「自分にできることを探そう」



#5 「GO!GO!KAI-GO応援団 みんなを幸せにする仕事」

公式HP <https://gogo-kaigo.jp/>

BS朝日
2022年2月5日13時30分～全国放送

世帯視聴率
0.1%

+

再生回数
258回

YouTube

2022年3月30日現在

個別施策について



想定ターゲット
若年層



無関心層含む
社会全体

キックオフミーティング

キックオフミーティング

テレビ朝日 夏のオンラインイベント「DEPARTURE 2021 SUMMER」-次世代イノベーターが未来をつなぐ-



イベント概要

- ▼ イベント名：DEPARTURE2021 SUMMER with ForbesJAPAN30under30
- ▼ 開催時期：7月22日～23日
- ▼ 開催場所：テレビ朝日本社
- ▼ 実施方法：テレ朝公式チャンネル生配信＆アーカイブ＆VR六本木
- ▼ チャンネル登録者数：40万
- ▼ 実施内容：GO!GO!KAI-GO応援団メンバーによる生配信コンテンツ

GO!GO!KAI-GOプロジェクト キックオフミーティング



オンラインイベント

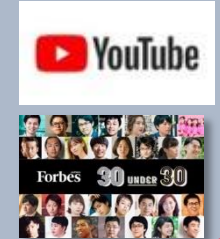
VR VR六本木

バーチャルSNS「クラスター」上でVR六本木ワールドを構築し、イベント展開



配信 配信プログラム

Forbesが選ぶ「世界を変える30歳未満30人の日本人」と連動したオンライントークセッションイベント



テレ朝公式YouTubeにて無料配信展開

最大同時接続

325人

12:40~45頃がピーク

7月22日 12時～12時45分生配信

テレ朝公式YouTubeチャンネル（アーカイブ配信）

アーカイブ再生

6,305回

22.3.30現在

フォース

WEBサイト

18,500PV

21年7月～8月

キックオフミーティング



#1 「GO!GO!KAI-GO応援団、始動！」

▼概要

GO!GO!KAI-GO応援団の結成を高らかに宣言するとともに、キックオフミーティングの様子をダイジェストで再編集して紹介。

それぞれのメンバーが、福祉・介護のイメージや、これからの活動への抱負を語りつつ“初仕事”へ。

福祉・介護の未来をつくる作家・岸田奈美さんと対談し、福祉に取り組むうえでの大切な心構えなどを自由に語り合う。

キックオフミーティング終了後には、メンバー全員が今回の発見や感動を共有。

介護職経験者の安藤なつによる介護クイズなどを交えながら、福祉・介護のしごとへの希望と期待を膨らませていく…。

<https://www.youtube.com/watch?v=zKZvfvNV1L4>



再生回数
152,806回

2022年3月30日現在

トピック 介護の仕事を知る



#2 「介護の専門職に体験入門！」

▼概要

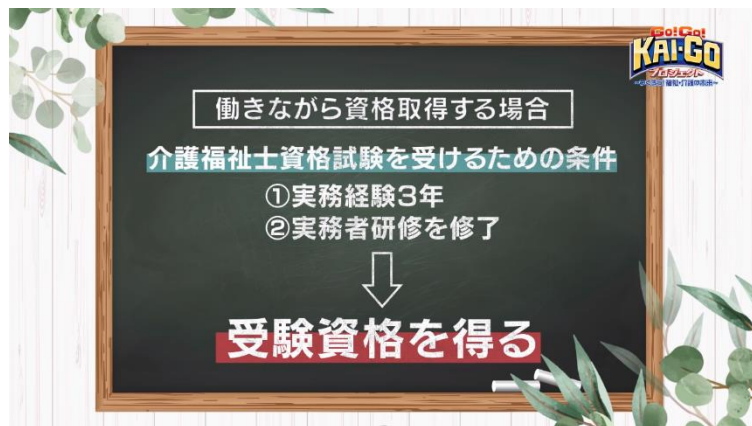
GO!GO!KAI-GO応援団としての活動を始めたメンバーたちは、福祉・介護のプロフェッショナルの仕事を知るために、介護の専門職を育成するアカデミーに体験入学。

ベッドから車いすへの移乗や移動補助などの実技を、プロの指導を受けながらメンバーたちが実践。

アカデミーに通う幅広い世代の受講生たちとともに、福祉・介護の仕事に必要な技術や知識を学んでいく。

さらに、アカデミーの卒業生が働く介護福祉施設を訪問。プロフェッショナルの仕事ぶりを覗きながら、福祉・介護のしごとの面白さややりがいなどを語り合う。

<https://www.youtube.com/watch?v=Wl-MttYZkc&t=1054s>



再生回数
359,307回

2022年3月30日現在

個別施策について



朝小サマースクール ONLINE2021

朝小サマースクール ONLINE2021



イベント概要

- ▼ イベント名：朝小サマースクール ONLINE2021
- ▼ 開催時期：7月17日（土）11:00~12:00
- ▼ 実施方法：オンライン開催（ZOOM）
- ▼ 参加方法：事前登録制
- ▼ 来場者数：総参加者数3653人/単体233人
- ▼ 実施内容：60分間のオンライン授業

2日間6講座
総参加者数
3,563人

【事前参加募集期間】6月19日~6月28日

【YouTube視聴募集】7月7日~17日

【紙面告知】

朝日小学生新聞 全15段カラー Zoomでの事前参加募集
掲載日 6月19日・25日・26日 計3回

朝日小学生新聞 全5段カラー
Zoomでの事前参加募集
掲載日：20日・21日・22日・23日
27日・28日 計6回

朝日小学生新聞 全5段カラー
YouTubeでの参加募集
掲載日：7月7日・9日・10日・14日
16日・17日 計5回



101,796部発行
×計14回掲載
142万5,144人
購読

朝小サマースクール ONLINE2021の評価

▼総参加者数：3563人

1日目(3講座)	2日目(3講座)	合計(6講座)
1,408	2,155	3,563

■未来を作るコミュニケーション術。KAIGOの仕事から学ぼう！ (11:00~12:00)

視聴者数(Zoom)	視聴者数(YouTube)	参加者数	事前応募者数
124	109	233	320

未来を作るコミュニケーション術。KAIGOの仕事から学ぼう！		時間	7月17日(土)11:00~12:00
参加者	233名	出展社	GO!GO!KAIGOプロジェクト(厚生労働省補助事業)
<p>高齢の方や障がいのある人も豊に生きられる支援をする大切なお仕事「介護」について、もっと知ってもらいたいと、専門家のみなさまに介護で大切なコミュニケーションについて紹介いただきました。また、新しい介護ロボットなどもご紹介いただくなど、介護について幅広くお話いただきました。</p>			

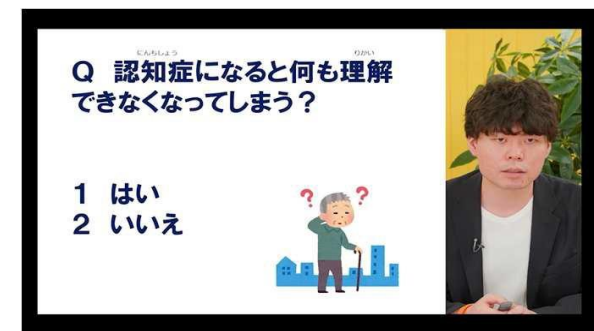
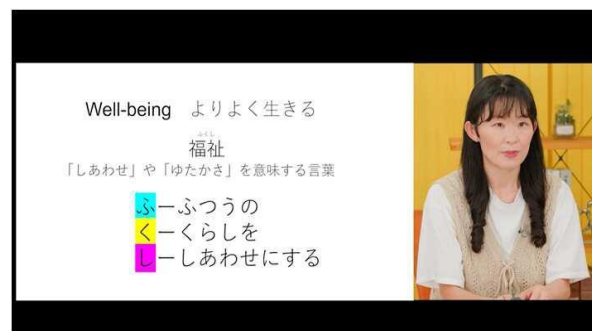
▼講師

未来をつくるkaigoカフェ
高瀬 比左子さん

▼特別ゲスト

認定NPO法人Link・マネジメント理事
介護福祉士
木村 誠さん

SOMPOホールディングス株式会社
Future Care Lab in Japan 所長
片岡 眞一郎さん

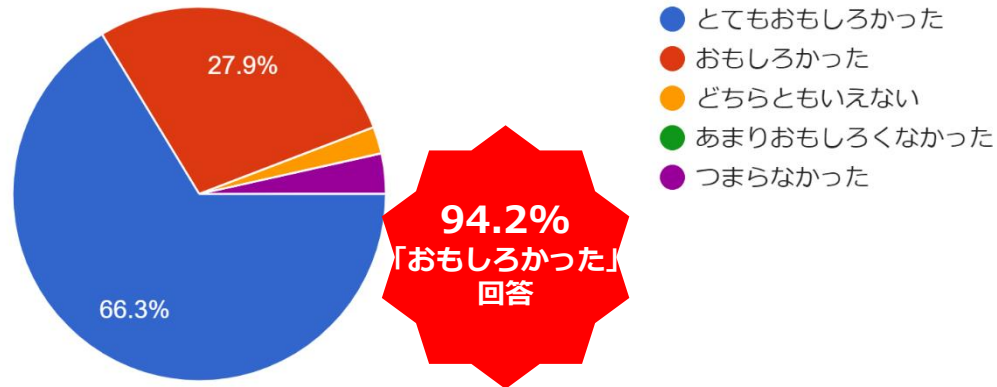


朝小サマースクール ONLINE2021の評価

■アンケート結果

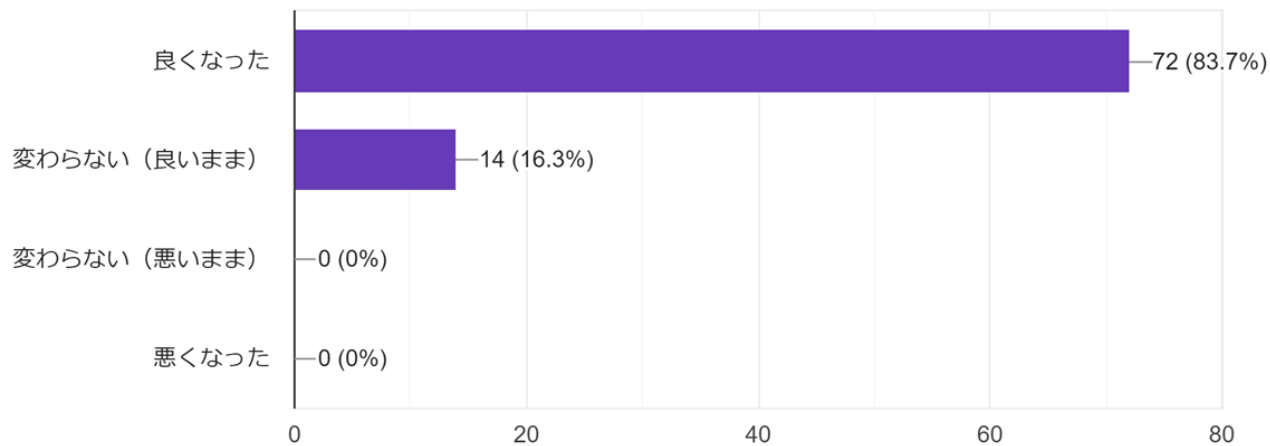
本日の授業内容はおもしろかったですか？

86件の回答



今回の授業を聞いて、介護に対するイメージは変わりましたか？(当てはまるものを選んでください)

86件の回答



<自由回答の抜粋>

- ・介護のお仕事は、人々を笑顔にする仕事だと思いました。
- ・もっと、介護ロボットについて、知りたくなりました。
- ・介護にもいろいろあることがわかった。
- ・コミュニケーション能力はどこにでも活かせると思うので良かったです。
- ・おじいちゃんが今認知症になりかかっているのので、聞いて良かったです。ありがとうございました！
- ・コミュニケーションのことと、介護のことが分かったのでとても良かったです。
- ・介護業界で27年、現在は後身育成をしております。誰かの役に立てる素晴らしい仕事として、直接介護に限らず、興味をもつきっかけになったと思います。ありがとうございました。

個別施策について



中学校・高校での出張授業

中学校・高校での出張授業

GO!GO!KAI-GO応援団出張授業「介護から豊かさを学ぶ」



イベント概要

- ▼ **イベント名**：GO!GO!KAI-GO応援団出張授業
- ▼ **開催時期**：10月～1月
- ▼ **実施回数**：全国5か所 1か所あたり2時限分を想定
- ▼ **実施方法**：リアル開催／オンライン開催
- ▼ **授業内容**：1時限目＞介護事業者の方の講演（50分間）
2時限目＞質疑応答（25分）
介護職に就くために必要な学びの発表（25分）

▼ 出張授業開催の募集告知

朝日中高生新聞 5段多色（ダブロイド判）初校
掲載日：21年9月5日（日）

▼ 応募校数：全国135校

※厳選なる審査の上、下記5校で実施決定

11/30に実施した練馬区立開進第四中学校（東京）の出張授業ではGO!GOKA-GO応援団を代表して安藤なつ&ボイメンが参加し、生徒たちと一緒に介護を勉強

住所	都道府県	オンライン対応可能か	実施日	スタート時間	コマ数	学年	学級数	人数	最寄り駅からのアクセス	会場	備考
東京都練馬区羽沢3-24-1	東京	はい	11月30日	14:30	1	中1	5	140	メロ「氷川台」から徒歩10分	体育館	YouTubeコンテンツ対象 安藤&ボイメンロケ
栃木県鹿沼市日吉町527	栃木	はい	12月22日	13:30	2	中2	4	119	JR「鹿沼」から車10分	体育館	
静岡県駿東郡清水町徳倉1205	静岡	はい	1月21日	13:25	2	高1	5	158	JR「三島」から車24分	体育館	
大阪府大阪市大正区小林東3-23-5	大阪	はい	2月4日	13:30	2	中1	2	64	JR「天王寺」から車18分	体育館	
福岡県福岡市博多区井相田2-1-20	福岡	はい	2月16日	14:00	1	中1	6	177	JR「博多」から車18分	体育館or校内から各クラスへ配信	

中学校・高校での出張授業

1～2回目はリアル開催、3～5回目は感染症対策のためオンライン開催

東京都

練馬区立開進第四中学校

中学1年生140名が参加



授業の応援団として参加したメイプル超合金・安藤なつさんも加わって、高齢者との共生や交流方法についてグループ討議。「高齢者が昔卒業した小学校と一緒に『母校探訪』する」「おばあちゃんが楽しんだ昔のゲームと一緒に遊ぶ」「マッサージ券をつくって配る」などさまざまなアイデアが出ました。



栃木県

鹿沼市立西中学校

中学2年生119名が参加



栃木県内でデイサービス運営する小林敏志さんと職員がゲストで登場。「利用者のおばあちゃんと恋ばなで盛り上がっています」「施設では利用者と職員も一緒に麻雀大会や将棋大会などをやっています」「自分が必要とされている、と感じられるとき、やりがいを感じます」など現場の声を届けてくれました。



静岡県立

沼津商業高等学校

高校1年生158名が参加



介護事業所を運営する石原孝之さんを招きました。「私は以前、高齢者施設と保育園を運営していました。寝たきりの方が、子どもが施設に遊びに来るとすぐに起きて手を差し伸べるようになったり、利用者が園児に絵本の読み聞かせなどをしていました」と共生事例を紹介してくれました。



大阪府

大阪市立大正中央中学校

中学1年生64名が参加



大阪府羽曳野市で介護事業所を運営する山下勝巳さんがゲストで登場。「近所のひきこもりのおじいちゃんが実はパズルゲームを作っていて、それをカフェで町の人に紹介したら評判になって、今は大勢の人と毎日のようにゲームを通してふれあって生き生きしています」という共生事例を紹介してくれました。



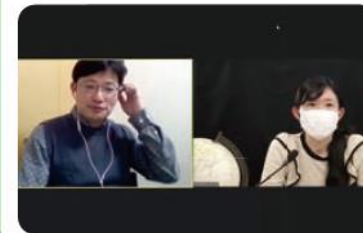
福岡県

福岡市立板付中学校

中学1年生177名が参加



ゲストの介護施設運営に携わる田中史王さんは「介護は喜びを2倍、3倍に感じられる仕事です」と語りました。そのことを感じた一例として、最初はひとりで過ごすことが多かった人が、施設で仲間との農作業などを通し徐々に活気を取り戻し、今ではリーダーとして活躍している姿を紹介してくれました。



中学校・高校での出張授業

<第1回目：11/30実施 東京都練馬区立開進第四中学校>

- ▼対象：1年生 5学級 140名
 - ▼授業時間：14：30～15：20 1時限分（50分間）
 - ▼講師：未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん
 - ▼応募動機：ここ5年ぐらいかけて、総合学習の時間を活用し、介護についての授業をおこなっている。
地域の介護施設に体験に行っていたが、コロナ禍で訪問することができなくなり、出張授業に応募した。
 - ▼授業内容：介護って何だろう？→職種、戦後から現代までの介護の変遷等の基本的な概要をレクチャー
介護から見る豊かさ→介護の役割、地域のつながりの拠点でどのようなことをしているか等の事例を紹介
グループディスカッション「地域で知り合い、つながりをつくるためには何をすればいいでしょうか？」
- ※特別ゲスト：GO!GOKA-GO応援団を代表して安藤なつ&ボーイメンが参加し生徒達と一緒に介護を勉強



中学校・高校での出張授業



#3 「10代と共に語る福祉」

▼概要

練馬区立開進第四中学校で行われた、福祉・介護の仕事の魅力を中高生に伝える「出張授業」に、GO!GO!KAI-GO応援団の安藤なつとボーイメンが飛び入り参加。

「未来をつくるkaigoカフェ」代表の高瀬比佐子さんによる授業を、生徒たちとともに受講し、グループワークにも参戦。中学生が考えたユニークな福祉のアイデアを発表していく。

授業の終了後には、生徒たちの意識の高さに驚きながら、福祉・介護の仕事の楽しさや未来への可能性をディスカッション。

福祉のプロである高瀬さんとともに、10代の若者たちに伝えたいメッセージを語り合う。

<https://www.youtube.com/watch?v=zKZvfvNV1L4>



**出張授業
飛び入り参加**



出張授業は数々の小・中・高校などで実施



10代と介護の出張授業で学ぶ

**グループで考案した
アイデアを発表**



高瀬先生が望む「介護・福祉」の未来像

介護の仕事についてもらえたらいいと思いますね

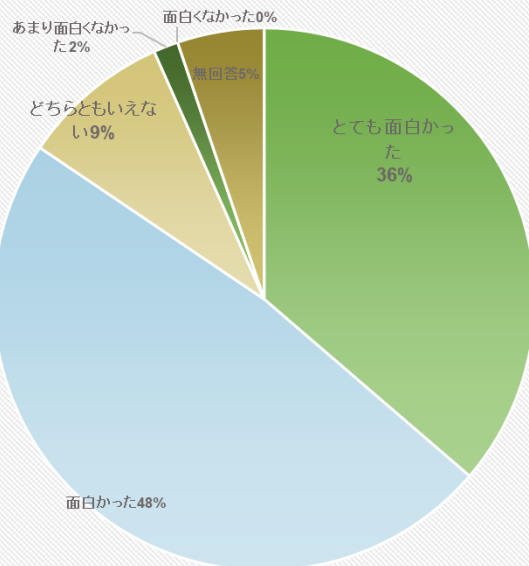
**再生回数
186,073回**

2022年3月30日現在

中学校・高校での出張授業 評価

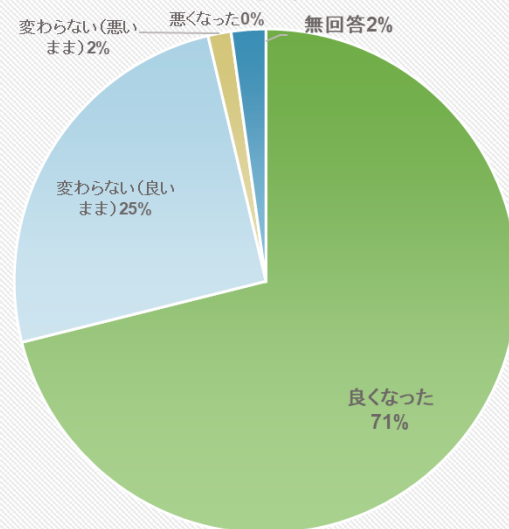
<第1回目：11/30実施 東京都練馬区立開進第四中学校> ※リアル開催

Q 出張授業は面白かったですか。



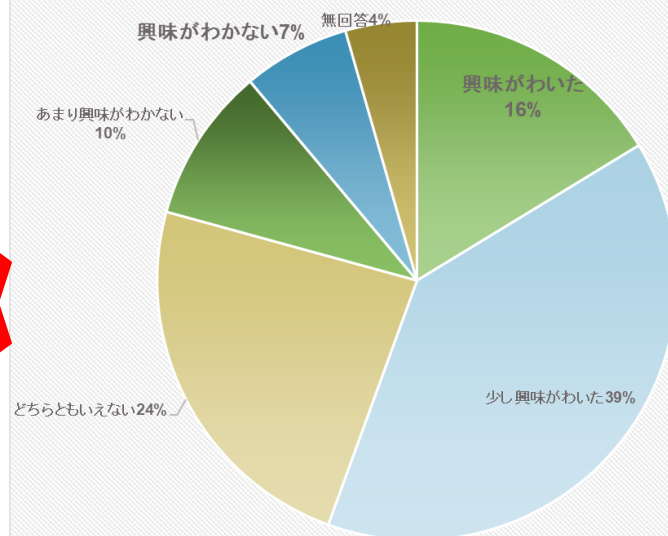
84%が
「面白かった」

Q 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



71%が
イメージUP

Q 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味はわきましたか。



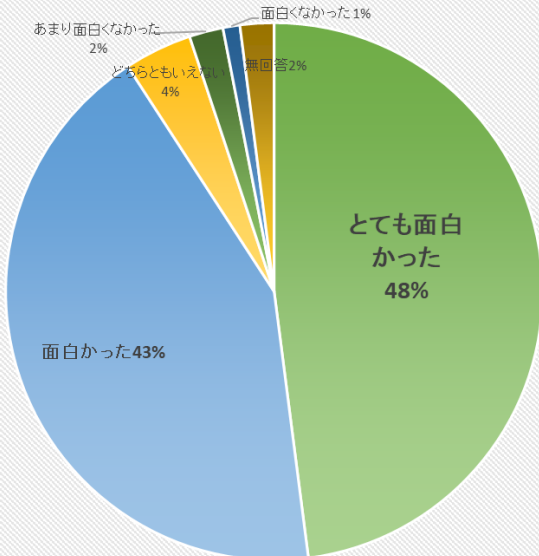
55%が
介護の仕事に
興味UP



中学校・高校での出張授業 評価

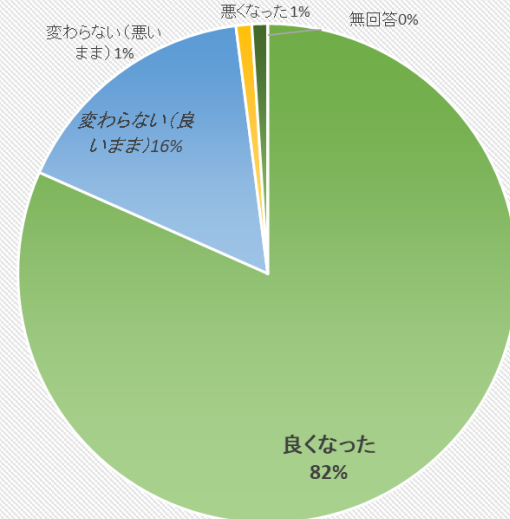
<第2回目：12/22実施 栃木県鹿沼市立西中学校> ※リアル開催

Q 出張授業は面白かったですか。



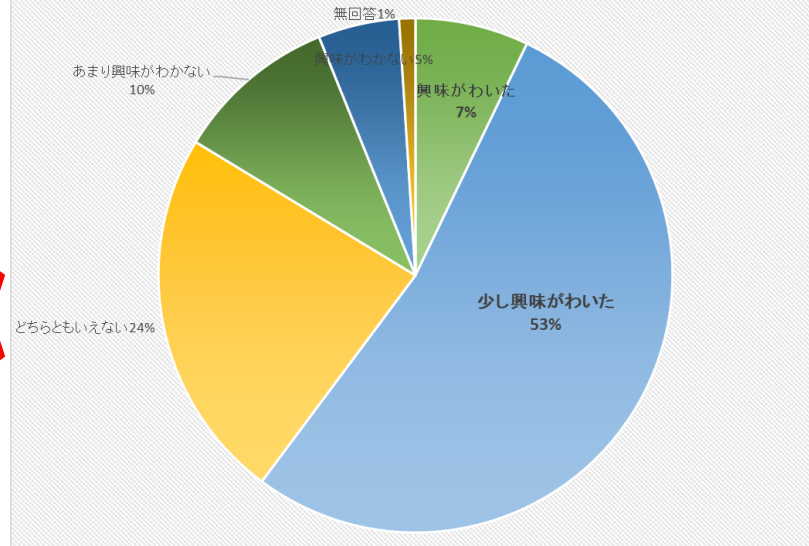
91%が「面白かった」

Q 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



82%がイメージUP

Q 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味がありましたか。



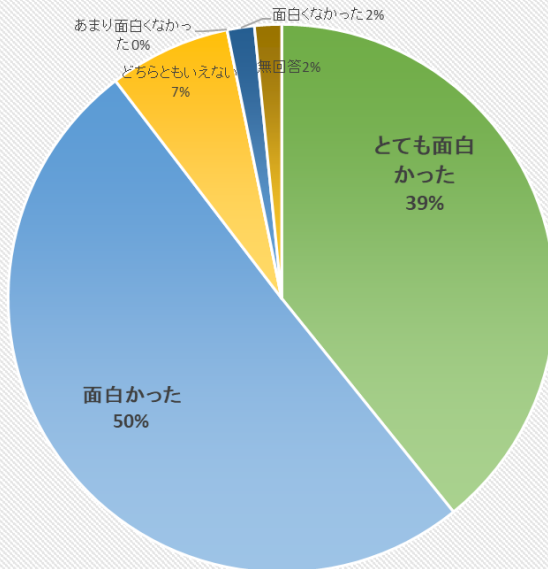
60%が介護の仕事に興味UP



中学校・高校での出張授業 評価

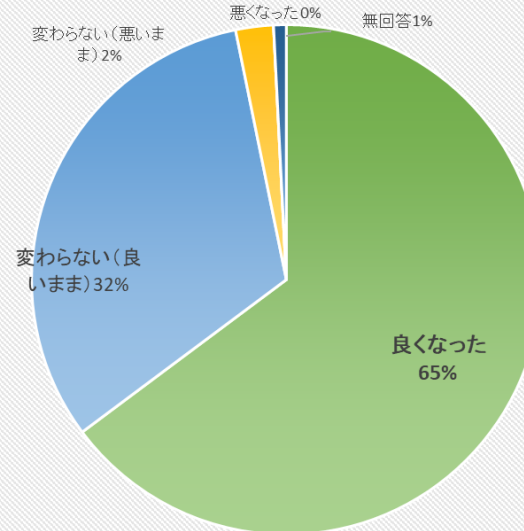
<第3回目：1/21実施 静岡県立沼津商業高等学校> ※オンライン開催

Q 出張授業は面白かったですか。



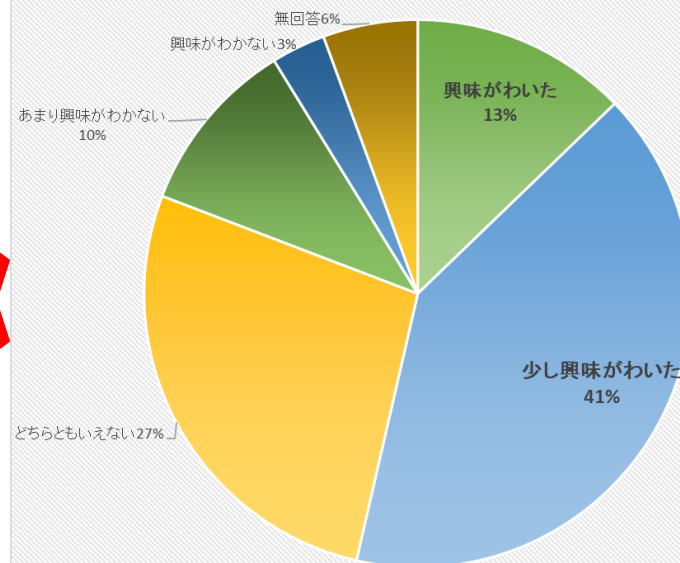
89%が
「面白かった」

Q 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



65%が
イメージUP

Q 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味はわきましたか。

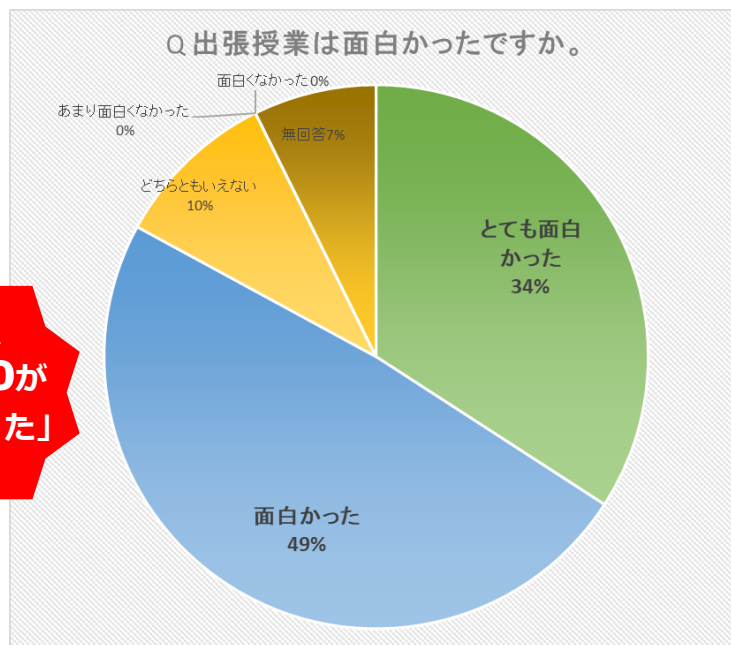


54%が
介護の仕事に
興味UP

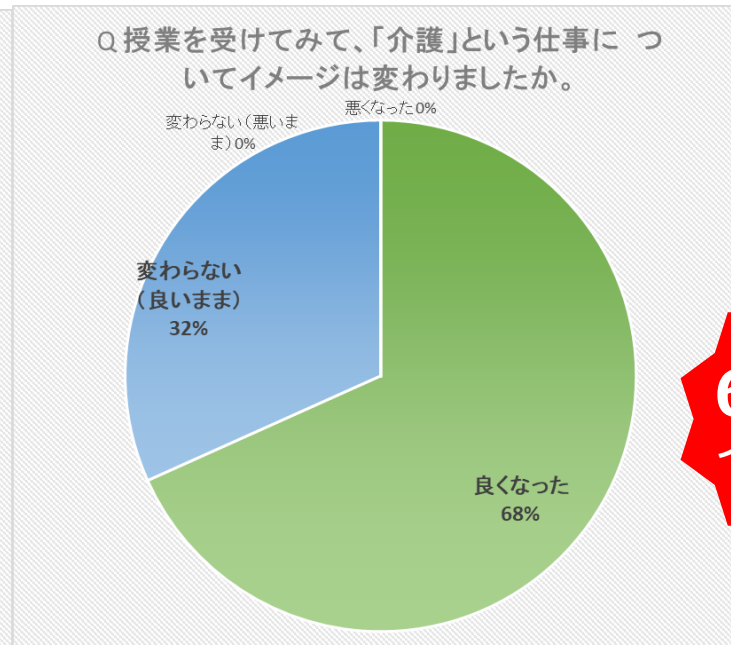


中学校・高校での出張授業 評価

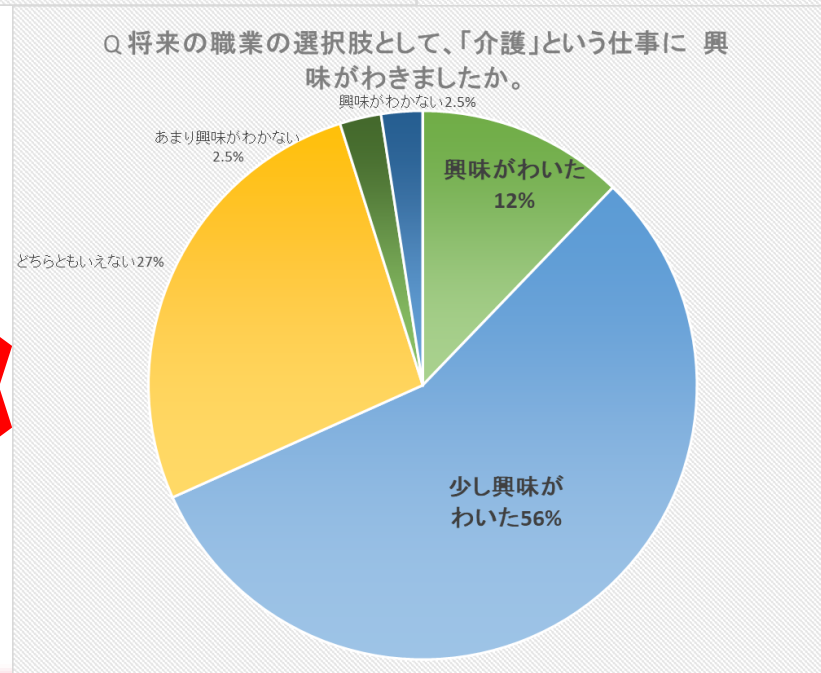
<第4回目：2/4実施 大阪府大阪市立大正中央中学校> ※オンライン開催



83%が
「面白かった」



68%が
イメージUP



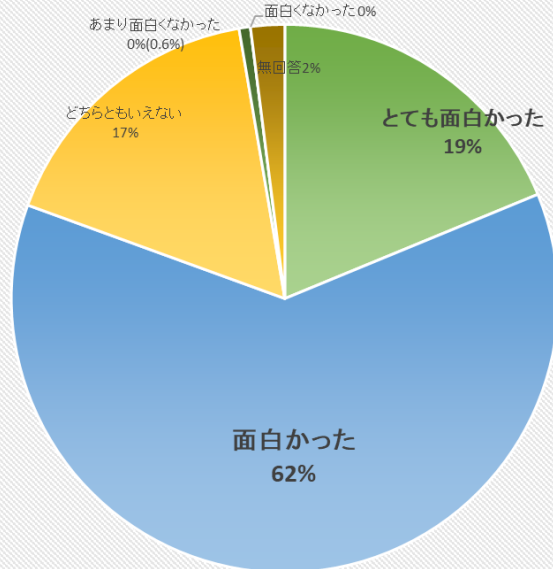
68%が
介護の仕事に
興味UP



中学校・高校での出張授業 評価

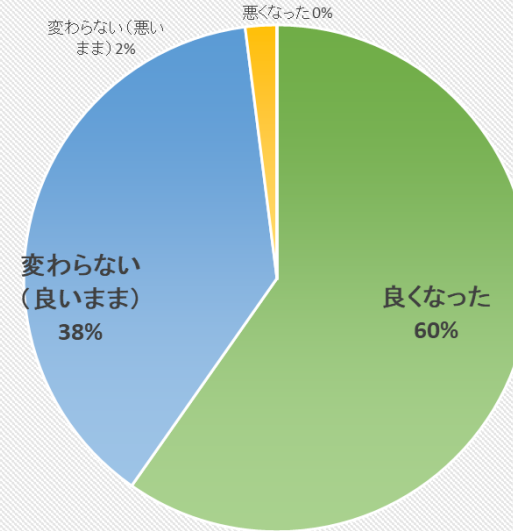
<第5回目：2/16実施 福岡県福岡市立板付中学校> ※オンライン開催

Q 出張授業は面白かったですか。



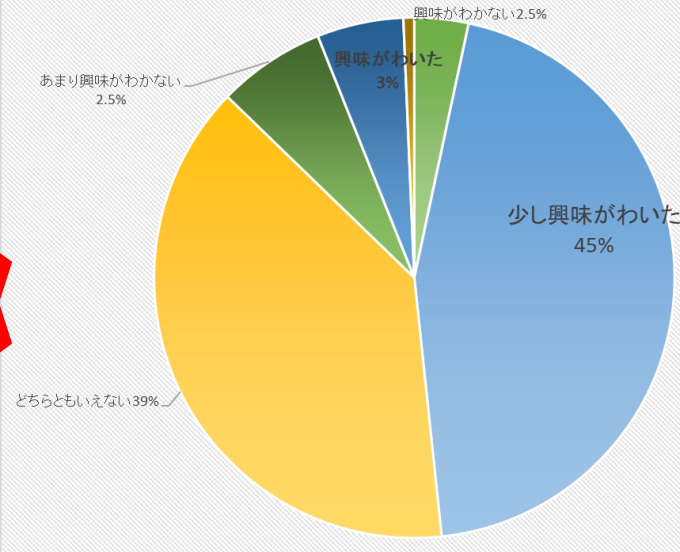
83%が
「面白かった」

Q 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



60%が
イメージUP

Q 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味がありましたか。



48%が
介護の仕事に
興味UP



中学校・高校での出張授業 評価

生徒たちの声（自由回答）

ずっと介護は遠い(?)ものだと思っていたけれど、もう高齢者社会になっているので、あんまり遠い(?)ものではないんだなと思いました。自分の中で一番心にのこった言葉は、「介護は相手を助けるけれど、自分も助かる」という言葉です。理由は、相手の人ばかり助けていて一方的に助けているのだと思っていたけれど、相手の笑顔や、できたことによって、自分も助かるんだなと思ったので一番心に残りました。

最初は、めんどそうや大変そうなどマイナスなイメージばかりだったけど、授業を受けた後は、自分の得意をいかしたい!や、体験してみたいなどのプラスの考えや興味がわいてきました。こういう機会を通して、介護の楽しさや良さが知れて良かったです。

応援団の皆さんも来て下さり介護について知りたい事もあったりしていたので、理解が出来て良かったです。自分のお母さんもいつか介護をするという気持ちがあわいてがんばろうと思いました。

最初は、介護と聞くと、障がい者や高齢者と一緒に生活をしたり、手伝いをしたりして、すごく大変そうなイメージでした。ですが、授業を受けた後は「お互いに気をかけ合う」、「信頼関係を築ける」という素敵な仕事だと知りました。介護する楽しさを理解できて、とてもためになりました。ありがとうございました!

私は将来の夢が看護師なので、とても興味が強くなりました。そして、高瀬先生の「長生きしてよかったと思える社会を作ることが私たちのミッション」という言葉が心に響きました。この言葉を心に看護師になる夢を実現させたいです。

介護とは、生きていく上でとても大切なもので必ず誰でも介護をしてもらうという事を改めて知りました。知り合いなどで介護を必要としている人がいたら、助けて助け合いたいです。

介護という仕事について、沢山のことを学ぶことが出来ました。自分が最初に思っていたイメージと違い、介護は人を支える仕事だけでなく、人と人との仲を深める大事な仕事だと知ることもでき、とってもいい体験になりました。

本日の出張授業では、介護のことや福祉のことをより知れてとてもいい授業でした。今回の授業で介護により興味がわいて調べてみたくなりました。

私は今回の授業の中で、「信頼関係」という事が頭に残っています。特に、安藤さんの、たくしてくれることについて、実際に誰かに自分をたくされるとうれしいので、共感できて、身近に感じられました。

介護という仕事がよくわかんなかったけれど今回の授業を受けて自分の趣味とかが役に立てるということを知れてよかった。

老人ホームではいろいろな活動やレクがされているのは初めて知りました。私の家のすぐ近くに老人ホームがあるので、なんかの機かいがあったら、たずねたいです。

介護とは障がいやお年寄りをただお世話をするだけだと思っていたけど、その人の尊厳を守り生活に彩りをあたえる必用不可欠なものだと分かりました。どんどん高齢化が進んでいるからこそ1人ひとりが関心をもっていかなければいけないと改めて感じました。私はまだ将来の仕事は決まっていないけど高瀬先生がおっしゃったようにきっかけはいつ出てくるかわからない。だから、今のうちに色々なことに関心を持ちたいと思います。とても有意義な時間でした。

今回の授業を通して、介護という職業の認識を改めなくてはいけないと感じた。介護をしたことで、相手に感謝をされるということが驚きだった。なんだかwinwinだと思った。

趣味を仕事にできて、とても良い仕事だと思いました。とても自由な仕事だと知りました。私も困っている人の助けになれる人になりたいです。

将来のなりたい職業が高齢者を支えるというわけではないんですが助産師になりたいです。みんな支えたいと思います。出張授業で学んだことは、高齢者や心身障がい者を長生きしてよかったと思えることだと分かりました。

私は好きな事があるので、そんな職業に就きたいなあとと思っているけれど、自分の趣味も活かせると聞いて興味がわきました!

あんどーさんの話を聞いてやりがいがある仕事だと知れて良かったです。

個別施策について



想定ターゲット
子育てが落ち着いた層



想定ターゲット
アクティブシニア層

朝日地球会議2021

朝日地球会議2021

朝日地球会議2021

～希望と行動が世界を変える～

“Hope with Action Can Change the World”



開始期間：2021年10月17日（日）～21日（木）

アーカイブ視聴

[朝日地球会議：朝日新聞デジタル \(asahi.com\)](https://asahi.com)

朝日新聞紙面

「朝日地球会議特集」

- ・ 朝日新聞全国版朝刊にて掲載！
- ・ テーマ性に富んだ編集記事＋広告特集



WEB施策

「ライブ配信」 「オンデマンド配信」

- ・ パネル討論の動画を配信
- ・ CM動画を配信



朝日地球会議2021

朝日地球会議2021 告知紙面展開

地球会議2021紙面一覧



- 20210901 01面 (社告)
- 20210901 16面 (事前特集右面)
- 20210901 17面 (事前特集左面)
- 20210920 15面 (直前特集)
- 20211001 29面 (科学面 = はやぶさ)
- 20211007 19面 (朝刊広告: サンドル・福岡)
- 20211013 33面 (朝刊広告: 海老蔵)
- 20211017 04面 (NEWS2WEEKS)
- 20211018 01面 (インデックス)
- 20211018 16面 (宇宙探査・海老蔵・イオン環境財団講演・英国大使)
- 20211018 17面 (サンドル・のん・都知事・国際交流基金)
- 20211018 28面 (開幕・都雑報)
- 20211020 19面 (ブレイディみかこ・児童労働・ケアテック・地域〈JT〉)
- 20211108 01面 (インデックス)
- 20211108 18面 (ウッダード・町山・気候安保)
- 20211108 19面 (オードリー・南場智子・台湾貿易センター)
- 20211108 20面 (医療逼迫・コロナ禍と文明・せめて宇宙・アデランス講演)
- 20211109 18面 (気候変動だけじゃない・東京大・気候危機時代・サントリー講演)
- 20211109 19面 (落合陽一・利他・万博・未来に愛を)

協賛企業広告

- 20211107 GLOBE・AD面 (台湾貿易センター)
- 20211107 GLOBE・BC面 (台湾貿易センター)
- 20211109 17面 (旭硝子財団)
- 20211109 20面 (アデランス)

GO!GOKAI-GOプロジェクト
シンポジウム協賛広告出稿

朝日新聞
朝刊3回/夕刊2回
介護シンポジウム
掲載

朝刊10,836,745人
×3回
夕刊3,104,844人
×2回
3871万9,923人
購読

朝日地球会議2021

【ケアテックで変える介護現場 求められる意識改革とテクノロジー】

介護の世界に変革を 「ケアテック」で魅力ある未来に：朝日新聞デジタル (asahi.com)

アーカイブ視聴



▼出演者

- ・宇井吉美さん (aba社長)
- ・川口啓子さん (大阪健康福祉短大特任教授)
- ・福澤朗さん (フリーアナウンサー／GO!GO!KAI-GO応援団長)
- ・高橋美佐子さん (朝日新聞 文化暮らし報道部記者) ★コーディネーター

▼概要

2040年度には日本の65歳以上の高齢者数3921万人とほぼピークになり、人口の3分の1超が高齢者になると見込まれる一方、介護職員の不足はさらに深刻化するとみられています。コロナ禍は、介護が社会を支えるために欠かせない「エッセンシャルワーク」であり、人材育成が急務であることを私たちに突きつけました。では、どうしたらいいのか。排泄ケアロボットの開発で介護の世界の変革を目指すabaの宇井吉美社長と、介護スタッフ育成に長年携わり、人手不足の背景を研究する大阪健康福祉短大の川口啓子特任教授とともに考えます。

<視聴者数>

▼地球会議全体

- ・事前登録者：17,377人 (前年12,400人)
- ・視聴者数：約105万人 (5日間のべ視聴者／前年約49万人)
 - 内訳> のべ約9.4万人「Brightcove (公式サイト)の視聴ページ」 (前年約6.4万人)
 - のべ約95.6万人「Twitterライブ」 (前年約49.5万人)

合計視聴者
105万人

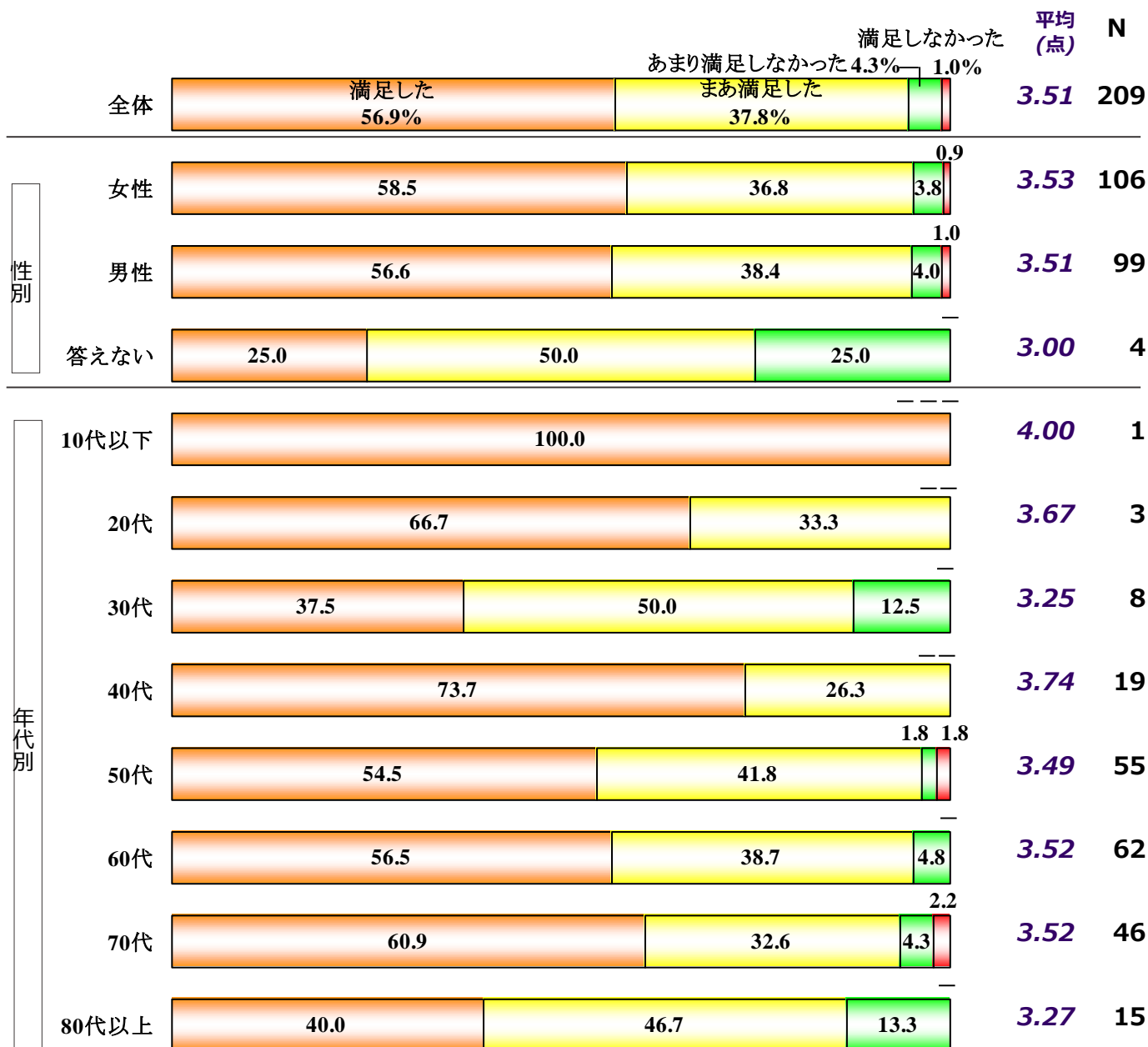
▼介護シンポジウム

- ・視聴者数：のべ95,218人
 - 内訳> 1,698人「Brightcove (公式サイト)の視聴ページ」のユニーク視聴者数」
 - 69,223人「Twitterライブの視聴者数」
 - 24,297人「Twitterアーカイブの視聴者数」

単独視聴者
95,218人

朝日地球会議2021「ケアテックで変える介護現場」評価

▼視聴者アンケート：満足度

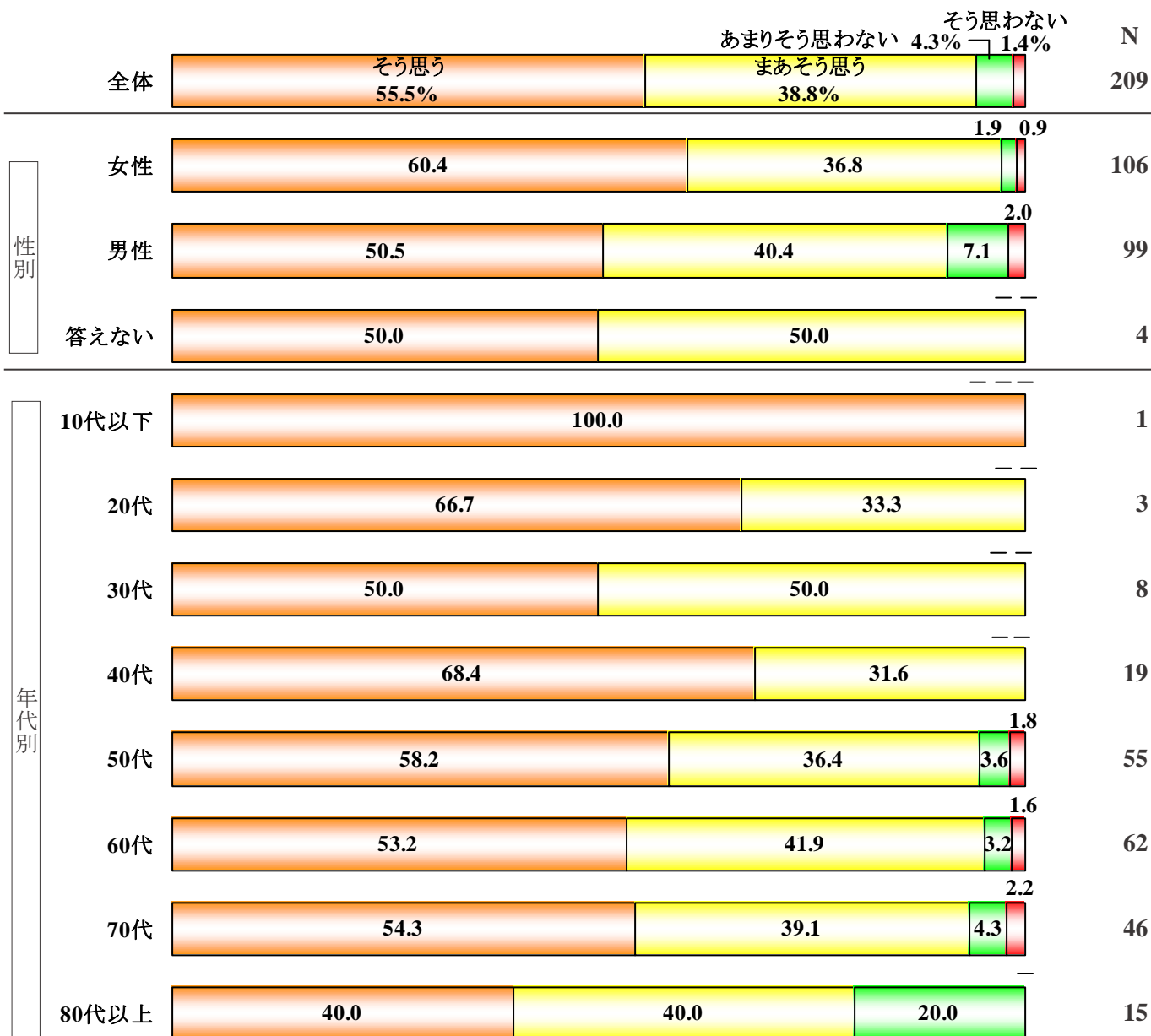


パネル討論：『ケアテックで変える介護現場 求められる意識改革とテクノロジー』の満足度を聞いたところ、「満足した」が56.9%、「まあ満足した」が37.8%、「あまり満足しなかった」が4.3%、「満足しなかった」は1.0% 4点評価で平均3.51点である。

**「満足」 + 「まあ満足」
94.7%**

朝日地球会議2021「ケアテックで変える介護現場」評価

▼視聴者アンケート：もっと知りたいと思ったか



パネル討論：『ケアテックで変える介護現場 求められる意識改革とテクノロジー』を視聴して、「もっと知りたい」と思われたかについては、
「そう思う」が55.5%
「まあそう思う」が38.8%
「あまりそう思わない」が4.3%
「そう思わない」は1.4%であった。

**「もっと知りたい」
94.3%**

朝日地球会議2021「ケアテックで変える介護現場」評価

▼視聴者アンケート（自由回答）

介護の現場での話。本当にその通りだと思います。新人に介護の技術を教えたいと思っても、現場はいつもバタバタしていて、理想と現実の差に愕然とします。自分が年を取って介護されるようになったとき、今の状態なら、本当につらいと思います。現状でも、忙しそうなので、無理して自分でするよ、大丈夫だよと言われる方が多いのですが、そうやって転倒、骨折、寝たきりにつながっている現実もあり、何のために介護しているのかと思う時があります。	女性	60代	主婦・主夫（パート含む）
何となく大変でなく自分事として介護をとらえケアテックの知識も知ってポジティブに取り組むという発想に気づかせてくれた！	男性	70代	会社員
話がわかりやすく、とてもよく理解できた。さらに興味を持ちました。再配信がないのが残念です。	女性	40代	その他
自分も親の介護をしている身で参考にさせて頂こうと聴講しました。川口先生の話では、需給ギャップと、その根底にある、処遇・制度・教育の問題がある事がわかりました。宇井さんの話から、その解決策の一つとしてテクノロジー化があるのだと学びました。職業差別など自分はしていないと思っていましたが、きっと子供に相談されたら「（大変やから）やめとき」と言っていたらということに気づけた事も貴重な体験でした。わかりやすい対談ありがとうございました。	男性	40代	会社員
川口啓子先生、宇井吉美先生、福澤朗先生、それぞれの視点で介護の現場を語ってくれて、とてもよかったです。ケアテックはおむつの中身を見なくても交換できるだ、と驚きました。テックの利用で、介護の現場をよくすることはとても大事なことと思います。介護の効率を増加するとともに精神や体力の負担も減らすことができると、在宅でも介護できるのではないかなあと思いました。	女性	40代	教員・教育関係
老いは誰もが迎えるもので、家族介護だけでなく、社会的介護の力も必要。介護職の地位向上と、テクノロジーの浸透は超高齢化社会を明るくするために必須だと思います。費用の面でも普及しやすいセンサーや、補助器械など、研究が進むといいです。	女性	60代	主婦・主夫（パート含む）
介護は他人事ではない立場なので、実感すること多い	女性	70代	教員・教育関係
ケアテックに未来を託したい。しかし、そのためには、その分野に投資をする必要があると思う。できることを考えたい。	女性	60代	その他
介護人材の不足は需要と供給の量に差が大きく生じることが大きな原因と知りました。必要な職種なのになり手がいないということは、社会全体で考えていかないと解決できないことと思います。今後はAIやICT等のテクノロジーにより、直接的な人員を要する業務が精査され、なくなるものも出てくると思いますし、減るものもあると思います。適正量の供給を各団体、業界が整理して、必要な職種の適切な量を確保できるようにしてもらいたいと思います。話のなかであったテクノロジーが大きなポイントとなって介護業界も最小人員で適正数となってサービスの向上につながるんだと未来が見えたような気がしました。まずはネガティブなイメージの脱却と教育現場から親しみを持てる世界を作れるように努力したいです。でも変わるべきは既にイメージを固めている私たち大人なのかもしれないとも思います。大変貴重なお話し、とても参考になりました。	男性	40代	会社員
介護のテクノロジーや3Kと呼ばれるような介護職へのハードな面、介護学を学ぶ学生の減少などと反比例してますます加速していく介護を必要とする人の増加と外国人に依存している現状を突きつけられた とにかくまずいなこのままじゃと焦りを感じるほどであった 教育から職場体験などで知ってもらう、プログラミングや技術でロボットを作る、社会で現状を知る、なにがまずいかを討論するなど若い世代の意識を変えなければ日本の未来はない	女性	50代	公務員

個別施策について



福祉介護のおしごととバーチャル見学ツアー

福祉介護のおしごとと バーチャル見学ツアー



コンテンツ概要

▼ 施策

福祉介護のおしごとと バーチャル見学ツアー

▼ 時期

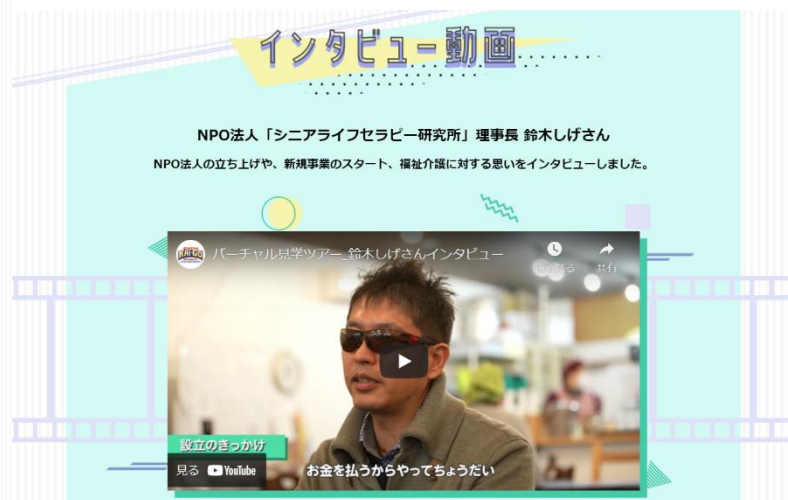
2021年12月24日公開 (GO!GO!KAI-GOプロジェクトWEB内)

▼ 内容

シニアライフセラピー研究所が運営する5か所の福祉施設を動画で紹介し、多岐にわたる仕事やそこで働く人の様々な声・働く喜びを発信する。合わせて、代表の鈴木しげさんやケアマネージャーさんのインタビューも掲載。

▼ 紹介施設

「パン遊房 亀吉」「かめキッチン」「マンマミーア」
「亀吉直売場」「モンテッソーリ教室」



<施設紹介>

- ・施設の種別
- ・働いている方
- ・施設の役割 (どんな仕事)
- ・施設の一日の流れ
- ・施設の特徴

<働いている方へのインタビュー>

- ・仕事の内容 (どんな仕事)
- ・この仕事をはじめたきっかけ
- ・働いていて印象的だったエピソード
- ・この仕事のやりがい、面白さ

企画委員・河本さんの「高齢者福祉施設 西院」の取り組みやそこで働く方々については、ウェブメディア「なかまある」が取材・撮影して記事化、プロジェクトウェブサイトから記事ページへ誘引。

福祉介護のおしごと バーチャル見学ツアー

50,036
PV



MAP上の施設をクリックすると、ポップアップ画面が開き、その施設の説明や働く人の様子を撮影した動画が流れる。同ページ内に、シニアライフセラピー研究所の鈴木しげさんのインタビュー、ケアマネージャーさんのインタビュー動画も掲載し、施設全体の理念や方針・どんな職場を目指しているか、知ることができる。

https://gogo-kaigo.jp/virtualtour_kengaku_tour/

福祉介護のおしごと バーチャル見学ツアー #4 「自分にできることを探そう」

▼概要

福祉・介護の分野で自分にできることは何だろう？と考え、坂下とボイメンは、地域福祉の向上をテーマに、介護事業や障害者福祉など、40を超える取り組みを展開する、NPO法人シニアライフセラピー研究所を訪問。

認知症を抱えるデイサービス利用者が調理から接客までを行う「かめキッチン」など、ユニークな福祉事業所の数々を見学し、現場での多彩な業務やイキイキとした利用者の姿に触れつつ、ボランティアスタッフとして現場で働くことに…。

福祉・介護の仕事の楽しさややりがいを発見しながら、「自分にできること」を見つけていく。

<https://www.youtube.com/watch?v=K494zU3aB24&t=582s>



再生回数
1,346回

2022年3月30日現在

個別施策について



ABEMA TV 音楽ライブ特番

ABEMA TV 音楽ライブ特番

Asianダンスボーカルグループ大集合SP!



無料で楽しめるインターネットテレビ局
2021年12月18日22時~配信



LOONA



LOONA(ルーナ)【今月の少女】は、2016年9月から開始した12人組ガールズグループ。

これまでのアイドルグループにはない新たな概念・戦略で国内はもとよりアメリカをはじめとした海外からも注目を集めている。

またミュージックビデオのクオリティにも定評があり、韓国トップクラスの映像集団Dejipectoを採用し、「Butterfly」はフランス、イギリス、日本、アイスランド、香港、オーストラリアなど世界各地で撮影され映像美を採る強いこだわりが垣間見られる。
韓国所属マネジメントはBlockberryCreative。



OMW



2019年に社会現象を起こした日本最大級のオーディション番組「PRODUCE 101 JAPAN」に出演した元練習生4名により結成されたボーイズグループ。
グループ名「OMW」には“*Our only Way to get Victory*~勝利を掴む僕たちだけの道~ 誰にも真似することのできない唯一無二のグループとなり、この世界で勝利を掴む”というメンバーの強い想いが込められている。

HKT48



福岡市を拠点に活動する日本の女性アイドルグループ。2011年10月23日に誕生した。AKB48グループのひとつであり、秋元康が総合プロデューサーを務める。2013年、1stシングル「スキスキスキップ」でメジャーデビュー、初週25万枚を売り上げ、オリコンウィークリーチャート1位を獲得。2021年5月15日に行われたイベント「HKT48メンバー全員生出演「君とどこかへ行きたい」リリース記念ニコ生特番」において、4月29日をもってIZ*ONEの活動を終えた宮脇咲良と矢吹奈子がサプライズ出演。同日より2年8か月ぶりにHKT48としての活動を再開した。またこの日、宮脇がグループからの卒業を発表した。運営会社および所属事務所は株式会社Mercury。



BOYS AND MENによるスタジオパフォーマンス&告知

BOYS AND MENが番組内でパフォーマンスし、GO!GO!KAI-GOプロジェクトをPR訴求

▼スタジオパフォーマンス



▼キャンペーン訴求



ABEMA TV 音楽ライブ特番

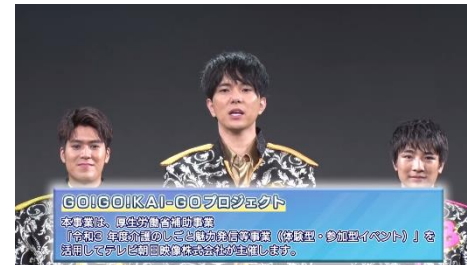
PR視聴
343,970回



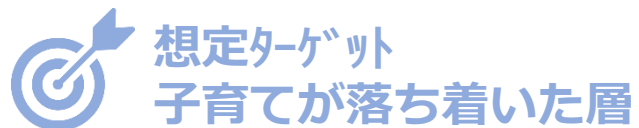
視聴合計
160万7,705回

- ▼ Abema特番当日配信 (21年12月18日22時～) 視聴者数57,585人
- ▼ アーカイブ配信 (21年12月18日～22年1月18日) 再生回数17,423
- ▼ Abema内PR CM配信 (21年12月17日～31日) 再生回数1,188,727
- ▼ ボイメンPR動画 (GO!GO!KA-GOプロジェクト公式YouTube) 再生回数343,970回

22年3月30日現在



個別施策について



SNS配信イベント 「withnewsTV」 PRコーナー

SNS配信イベント「withnewsTV」

配信視聴
のべ
29.7万

▼概要

2月22日配信「withnewsTV」PRコーナーにて、安藤なつと、インド人クリエイター・マンジョット氏が、介護の仕事の楽しさやカッコよさをPR。



トレンド！ withnews ∞ TV

「ニュース」を伝える朝日新聞と「リアルタイム性」と「拡散力」が評価されるTwitter社がタグを組み、生活者とブランドの「共感」の架け橋となる番組を企画。朝日新聞の若者向けニュースサイト「withnews」がお届けする『“気になる”話題をもっとおもしろく』SNSに敏感なスマホ世代に向けた新感覚ニュースバラエティ。



	Contents	Lap
①	CM(プレロール広告) ※純広素材 ★	6秒推奨
②	オープニング	3分
③	「気になる」withニュース(編集枠)	10分
④	「気になる」withトレンド ★ (PRコーナー)	15分
⑤	エンディング	2分
	計	30分

本編：「気になる」withニュース
奥山編集長がニュースの「見出し」を紹介。この回は「国際」をテーマにしたトレンドニュース取り上げを予定。

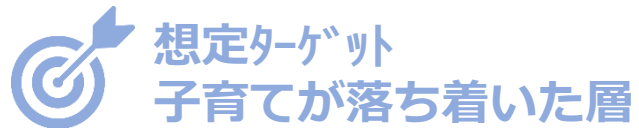
PRコーナー：「気になる」withトレンド
PRゲストとして、著名な障がい者を起用して、JICAの「障害と開発」活動のトレンドをともに学ぶ。

PRゲスト

※Twitterでの介護の仕事に対する調査も実施。結果は4月11日に出る見込みです。



個別施策について



BS朝日特別番組「GO!GO!KAI-GO応援団 みんなを幸せにする仕事」

BS朝日特別番組（配信コンテンツ#5）



▼BS朝日 番組タイトル

「GO!GO!KAI-GO応援団

みんなを幸せにする仕事～つくろう!福祉・介護の未来」

▼放送

2022年2月5日土曜 13時30分～14時OA

世帯視聴率
0.1%

再生回数
258回

▼概要

GO!GO!KAI-GO応援団として、様々な場所を訪れ、多くの人々と出会い、福祉・介護に関する知識や視野を広げてきたメンバーたちがここに集結！

スペシャルゲストにパラリンピアン根木慎志さんを迎え、それぞれがどんなテーマでどんな体験をしてきたのかを、#1～4までのダイジェストVTRを振り返りながら報告しあい、体験や感動を共有していく。

さらに、応援団メンバーとゲストが一体となって、福祉・介護の仕事の大切さや可能性を展望しながら、「これかも福祉・介護の未来を一緒につくっていこう！」というメッセージを幅広い世代に向けて発信していく。

<https://www.bs-asahi.co.jp/gogo-kaigo/>



BOYS AND MEN



坂下千里子



団長・福澤朗



副団長・安藤なつ



小宮有紗



特別ゲスト
根木慎志さん
パラリンピアン
日本財団パラサポ顧問

周知拡散

周知拡散 テレビCM



テレビ朝日 インフォーマーシャルCM放送

BS朝日・ウェブで配信するイベント連動型体験共有番組『GO!GO!KAI-GO応援団』の視聴誘引を図るため、テレビ朝日（関東ローカル）で本プロジェクトおよびHP告知30秒CMを放送。



- ▼放映局
テレビ朝日（関東ローカル）
- ▼放映時期
22年1月～2月想定
- ▼秒数
30秒

テレビ朝日関東ローカル視聴可能世帯数
19,866千世帯。
地上波テレビのメディアパワーで、
番組視聴へとつなげます。

幅広い視聴者へのリーチを目的に情報番組にて放送

1 / 2	1	金曜日	スーパーJチャンネル	1 7 時台	世帯 5.8%
	2	金曜日	スーパーJチャンネル	1 7 時台	世帯 7.2%
2 /	3	木曜日	グッド!モーニング	7 時台	世帯 5.6%
	6	日曜日	スーパーJチャンネル	1 7 時台	世帯 8.8%
	10	木曜日	グッド!モーニング	6 時台	世帯 3.5%
	11	金曜日	スーパーJチャンネル	1 7 時台	世帯 7.5%



周知拡散 テレビCM 企画コンテ

テレビ朝日・BS朝日・Abema インフォマーシャルCM30秒

GO!GO!KAI-GOプロジェクトの 認知拡大

応援団結成の目的と役割を明確にし
公式HPへの誘因促進を目的に制作



「GOGO介護プロジェクト」Info 30秒 コンテ

♪ (若者から支持が得られるような
かっこいい楽曲を使用)

■空にテロップ
T:みんなでつくろう
福祉・介護の未来



00:01
みんなでつくろう福祉・介護の未来

■GOGO介護プロジェクトロゴ



00:05
GOGO介護プロジェクト

■出演者紹介



00:07
福澤朗団長が
福祉・介護の応援団を結成!

■応援団の現場体験などの
取材映像



00:12
団員が現場体験を通じて
仕事のやりがいや魅力を
発信していきます

■子供や高齢者の笑顔
T:日本の未来を明るく元気に!



00:18
日本の未来を
明るく元気に!

T:日本の福祉・介護の未来を
切り開く



00:21
日本の福祉・介護の未来を
切り開く

GOGO介護プロジェクト!



■番組ロゴ
■検索画面 (ワード検討)



00:27
「GOGO介護」で検索

『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』は厚生労働
省補助事業「令和3年度介護のしごと魅力
発信等事業」(テレビ朝日映像主催)

周知拡散 テレビ番組での特集

<概要>

BS朝日の情報バラエティ番組「テイバン・タイムズ」にて、プロジェクト実施イベント取材。テレビ番組ならではの「分かりやすさ」を生かし、興味関心の低い視聴者に対しても、介護の仕事のイメージを前向きに転換するきっかけをつくる

▼特集番組

BS朝日「テイバン・タイムズ」(毎週日曜日11時放送)

▼BSデジタル放送視聴可能世帯

約4,472万世帯(全国77.1%の世帯が視聴可能)

※BS朝日は2019年に年間3冠達成(1~12月視聴データ)するなど視聴者に支持されています。

接触率

0.1%

5万世帯12万人



「テイバン・タイムズ」
2022年1月16日日曜日 11時~0A

特集「介護の魅力を学ぶ」

日々進化！やりがいのある介護の仕事取材！未来の介護を研究する施設や次世代型デイケアサービスなど介護の情報が満載です！



見逃し配信用リンク
<https://youtu.be/2dQ3jWAd-uM>
254配信(22年3月30日)

周知拡散 新聞

▼朝日新聞 全国版朝刊

2022年3月10日付 全15段多色

朝日新聞
全国版朝刊
3回掲載

朝刊10,836,745人
×3回
3251万235人
購読



福祉・介護のしごとの、やりがい・面白さ・魅力を発信

年間を通じて様々な体験型・参加型のイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来への可能性を発信している「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」。
アナウンサー・福澤朗さんを中心に、「福祉・介護の世界で活躍する人々の力になりたい」と集まった著名人たちが「応援団」を結成しました。
幅広い世代のメンバーたちの介護・福祉のしごとと体験レポートなどを、BS朝日特番「GO!GO!KAI-GO応援団」や、定期配信WEB動画でお届けしています。



これまで実施したイベント

トレンド!withnewsTV×GO!GO!KAI-GOプロジェクト

オンライン●2月22日配信

話題になったニュースをさらにフカザシして届ける新感覚ニュースバラエティ番組「トレンド!withnewsTV」に、安藤なつさんが出演。自身の介護経験や「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」の活動について紹介しました。また、日本の介護現場で活躍する人々のポートレート撮影などで注目されているインド出身のタレント、マンジュット・ペディさんがリモートで登場。様々な視点から介護の魅力を語り合いました。

出演:ナミナリ(竹内まなぶさん、石田たくみさん)、高橋真麻さん、ゲスト:安藤なつさん、マンジュット・ペディさん

視聴はこちら <https://twitter.com/withnews/withnews/1454491532841209858>

GO!GO!KAI-GOプロジェクト特別授業

リアル＆オンライン●2021年11月～2022年2月(全5校)

若い世代の職業観の一つに加えてもらえるように、「介護から働きかき」をテーマに、介護・福祉の専門家が中高生向けに授業を行う「GO!GO!KAI-GOプロジェクト特別授業」を全国5校で実施しました。地域で実際に介護施設を運営されている方をゲスト講師に迎え、介護の仕事の面白さ・魅力を語っていただきました。介護への理解を深め、やりがいを探しながら、これからの介護態勢についても考えました。

講師:未来をつくるkelgoファ代表/高橋まな子さん
実施校:東京都練馬区立開成中学校、新潟県長岡市立西中学校、静岡県立沼津南高等学校、大阪府大阪市立大正中央中学校、福岡県福岡市立板橋中学校

バーチャル見学ツアー NPO法人シニアライフセラピー研究所

神奈川県横浜有馬地区のNPO法人シニアライフセラピー研究所が手がける様々な施設や事業を紹介。介護保険サービス、障害福祉サービスやコミュニケーション、認知症ケアに携わる方々の様子や働き方、施設・介護に求められる幅広い仕事内容や、福祉・介護サービスに携わるママタレントの仕事を詳しく紹介し、具体的な質問にも答えました。福祉・介護の仕事を目指す人へのメッセージも届けています。

出演: NPO法人シニアライフセラピー研究所理事長/鈴木しげさん、ケアマネジャー/杉本香子さんほか

WEBサイトはこちら https://gogo-kaigo.jp/virtualtour_kengaku.html

「介護のしごと・介護の未来 京都から考える」

私たちが創る! 介護のしごと・介護の未来

社会福祉法人京都福祉サービス協会の高齢者福祉施設 楽野で働くスタッフがみながこの道を選んだきっかけや経験、仕事のやりがいなどを語り合いました。また、ものづくりのプロセスを地域で共有する「shibuproject」に関わる施設のスタッフが利用者の方を案内し、地域福祉のあり方を紹介。福祉・介護の現状や可能性を、様々な立場の意見を交えて提示しました。

出演: 社会福祉法人京都福祉サービス協会の高齢者福祉施設 楽野施設長/河本歩美さん、施設施設長/高 賢一さん、各スタッフ、利用者の皆さん

WEBサイトはこちら <https://nakamaeru.asah.com/articles/14531866>
YouTube <https://nakamaeru.asah.com/articles/14540191>



「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」は、年間を通じて様々なイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来の可能性を発信していきます。
本事業は、厚生労働省補助事業「令和3年度介護のしごと魅力発信等事業（体験型・参加型イベント）」を活用して、テレビ朝日映像が主催します。

●実施したオンラインイベントは、こちらでご覧いただけます。
<https://gogo-kaigo.jp>

周知拡散 ウェブ・SNS

▼特設サイト PV数

👉 51,690PV

▼関連記事PV数（目標合計5～6万PV）

・ウェブメディア「なかまある」での西院の取材記事2本

👉 前編20,572PV / 後編20,092PV

・ウェブメディア「かがみよかがみ」中高出張授業の取材記事1本

👉 20,585PV

▼LINEダイジェストスポット（2022年2月発信）

👉 40,000PV

▼AbemaCM配信（2021年12月17日～12月31日）

👉 1,1250,00imp → 1,188,727imp

▼YouTube特別番組の視聴数（2022年3月30日時点）

動画名	視聴回数
#1 GO!GO!KAI-GO応援団、始動！	152,806
#2 介護の専門職に体験入門！	359,307
#3 10代と共に語る福祉	186,073
特別編 俺たちが『GO!GO!KAI-GO応援団』です！	343,970
#4 自分にできることを探そう！～十人十色の福祉のしごと～	1,364
合計	1,043,520

関連記事
計61,249PV
達成

CM配信
118万8,727回

合計再生回数
104万3,520回

周知拡散 ウェブ・SNS

▼ウェブメディア「なかまある」での西院の取材記事 → 前編20,572PV 後編20,092PV

なかまある 「私」を繋げる みんなと繋げる

認知症 自立とケア 認知症 暮らしの工夫 認知症 ほっとニュース 連載一覧 特集一覧

トップ > 認知症 ほっとニュース

きついつて思われていること以上の小さな感動の連続が介護の世界にあった

2022.02.08 Sponsored by GOIGOKAI GOプロジェクト (テレビ朝日映像)

私たちが創る！
介護のしごと・介護の未来

～京都から考えるI 紫野編～

介護の仕事は、ダイバーシティの最先端でもあります。多様な世代が多様な働き方なし、その働きやすさが人材を集める好循環と利用者の満足度の向上を生み出しています。京都福祉リービズ協会の高齢者福祉施設「紫野」で、特別養老老人ホームやデイリービズの仕事をしている5人のスタッフに、5年後や10年後の介護や自分が理想とする介護、これからやってみたい介護について語ってもらいました。(ポートレート用写真の撮影のとき、マスクを外して撮影しました)

現場職員と地域住民が語る介護の未来の記事「京都から考えるII 西院編」はこちら▶

座談会参加者
井上真之さん (特別養老老人ホーム)
柳村真紀さん (同)
小野山美子さん (同)
飯田ナミ子さん (デイリービズ)

読まれている記事

なかまある 「私」を繋げる みんなと繋げる

認知症 自立とケア 認知症 暮らしの工夫 認知症 ほっとニュース 連載一覧 特集一覧

トップ > 認知症 ほっとニュース

地域とのコミュニケーションを重視する介護施設を訪ねたら地域福祉が見えてきた

2022.02.15 Sponsored by GOIGOKAI GOプロジェクト (テレビ朝日映像)

地域に飛び出せ！
介護のしごと・介護の未来

～京都から考えるII 西院編～

京都市内でデイリービズ (通所介護) を提供する介護施設が今、インクルーシブ社会の担い手として進化してきています。地域社会とシームレスでつながる京都福祉リービズ協会の高齢者福祉施設「西院」で取り組まれている「sitteプロジェクト」を中心に、スタッフと地域住民の高齢者から話を聞いていくと、「地域福祉」の姿が見えてきました。(ポートレート用写真の撮影のとき、マスクを外して撮影しました)

現場職員が語り尽くす介護の未来の記事「京都から考えるI 紫野編」はこちら▶

お問い合わせ・資料請求▶

地域に飛び出せ！
介護のしごと・介護の未来

地域とのコミュニケーションを重視する介護施設を訪ねたら地域福祉が見えてきた

Sponsored by GOIGOKAI GOプロジェクト (テレビ朝日映像)

sitte プロジェクト

■コンセプト
sitte の名称には「[sitte] を選んで、より豊かな人
と社会と人々の生活の質を『sitte』で、[sitte] したい」と

周知拡散 ウェブ・SNS

▼ウェブメディア「かがみよかがみ」中高出張授業の取材記事 → 20,585PV



HOME > キャリア > 介護のしごとに興味ありますか？若い世代に向けた出張授業「GO！GO！KAI-GOプロジェクト」を体験してきました

Sponsored by GO!GO!KAI GOプロジェクト (テレビ朝日映像)

キャリア

介護のしごとに興味ありますか？若い世代に向けた出張授業「GO！GO！KAI-GOプロジェクト」を体験してきました

2022/02/14

キャリア 減価 社会人



福祉・介護のしごとの、やりがい・面白さ・魅力を発信するため、年間を通じて体験型・参加型のイベントを実施している「GO！GO！KAI-GOプロジェクト」。現在の介護のしごとを知ってもらい、若い世代の職業選択の一つに加えてもらえるように、「介護から豊かさを学ぶ」と題し、介護・福祉の専門家が中高生向けに授業を行う「GO！GO！KAI-GOプロジェクト特別授業」を実施しました。今回は、全国135校から応募があった中から選ばれた5校のうち、中高からそれぞれ1校ずつ特別授業の様態をお伝えします。

【練馬区立開進第四中学校(東京)/2021年11月30日実施】

講師 未来をつくるkaigoカフェ代表/高瀬比左子さん

ゲスト 安藤なつさん (メイプル組合金)

田村佑久さん、平松賢人さん(BOYS AND MEN)



カテゴリ



恋愛



キャリア



見たい目



コミュニケーション



家族



その他

ランキング



【介護】父からの手紙から始まった家族の崩壊。娘の七五三に自分の...



老後が不安な今だからわかる。祖父母からもらうお金に詰まった「愛」



授業の最後は、みんなで記念撮影



【授業を終えて】

本校では例年、1年生が介護施設に訪問してボランティアをするという体験学習を行っていましたが、コロナ禍により活動ができなくなってしまった中で、何とか介護や社会福祉についての学習ができないかと考え、今回の出張授業に応募させていただきました。



練馬区立開進第四中学校 丸島特高教諭

生徒のアンケートを見ると、楽しく介護を学ぶことができ、中学生にとって自分の将来、キャリアを形成していく中でいろんな体験をしていくことは重要です。本校では、総合的な学習の時間において、社会福祉、職業、国際理解などについて体験的な学習に取り組んでいます。様々な観点から自分を知る、社会を知る機会になってほしいと思っています。これから社会がますます高齢化していく中、子どもたちが大人になったときに、介護と接する機会は必ずあると思います。そのような必要性からも、介護に関する学習を学校でも取り入れています。

【静岡県立沼津商業高等学校/2022年1月21日実施】

講師:未来をつくるkaigoカフェ代表/高瀬比左子さん

ゲスト講師: (株) 3C代表取締役・焼津市議会議員/石原孝之さん



考察

本事業実施における考察として

実施ポイント

- ①GO!GO!KAI-GOプロジェクトのコンセプトは「（介護を）他人ごとから自分ごとにする」に設定。特に若者は「介護は他人ごと」という感覚が強いと思われる為、介護について勉強してもらう手前に、介護を「自分ごと」として感じてもらう事にポイントを絞り興味喚起を狙って各コンテンツを作成した。
- ②その為に各世代への訴求 アピールの効果を最大にすべき 各世代毎訴求に有効と思われる芸能人をキャスティングし彼らの知名度パフォーマンスを活かしたコンテンツ制作ができた。

コロナ感染拡大予防対策

- ③新型コロナウイルスの影響により、大規模音楽イベント「COUNTDOWN JAPAN」内でのPR及び大規模ウォーキングイベント「日本スリーデーマーチ」へのブース出展を中止した。中止となった活動の代替として、Abema TVの音楽ライブ配信フェス「Asianダンスボーカルグループ大集合SP!」及びwithnewsTV配信番組とオンラインを活用した施策を実施
- * 上記以外は予定通り実施できた

総評

- 各活動に応じて細かくターゲットを設定し、各ターゲットに刺さると考えられる内容を発信した。ターゲットによって生活する環境が異なるため、伝え方を変えることを意識した。どう表現するか、誰が伝えるかがポイントだと感じた。
- 芸能人の起用によるコンテンツ視聴のきっかけ作りや、集客力の強い大規模イベントへの相乗りなどにより、幅広い対象へのアプローチを行った。
- イベントを開催する活動については、当日運営のみでなく、イベントに関するコンテンツ（アーカイブ動画やWEB記事等）の作成・配信を積極的に行った。このような取り組みを実施したことで、イベント当日に参加していない人に対してもアプローチすることができた。
- 各種イベントをリアルで実施したかったが、新型コロナウイルスの影響でオンラインへの変更を余儀なくされた活動があった。オンラインへの変更に伴って、活動に制約が生じた部分があった。

ご参考情報> 企画委員より事業の効果のご共有

■ NPO法人シニアライフセラピー研究所 代表理事 鈴木しげ氏

「介護の人材を増やすという意味においては、
作成頂いたコンテンツを当法人で周知したところ
1月中旬から3月上旬（求人を止めたので）の2カ月で、
求人募集が34名も来ました。
34名中、33名が「介護未経験者」でした。
つまりはじめて福祉の業界に足を踏み入れよう
とした方が33名いたということですね。
通常は、月に1名くらいです。」

The screenshot shows the website of NPO法人シニアライフセラピー研究所 (NPO SENIOR LIFE THERAPY RESEARCH INSTITUTE). The header includes the organization's name and logo. A navigation menu lists various sections like '新着情報' (New Information), '事業紹介' (Business Introduction), and 'お問い合わせ' (Contact Us). The main content area features a video player with a thumbnail for a video titled '自分は何ができる?!' (What can I do?!). Below the video, there is text mentioning that the organization is a model for the '厚労省の事業モデル' (Ministry of Health, Labour and Welfare's business model) and that it has been selected as a model for the '令和3年度介護のしごと魅力発信等事業' (Ryōwa 3rd Year Care Job Attractiveness Promotion etc. Business). There is also a 'チャンネル登録' (Subscribe to Channel) button and a 'お知らせ' (Notice) section.

<https://slt.tanemaki.fun/>